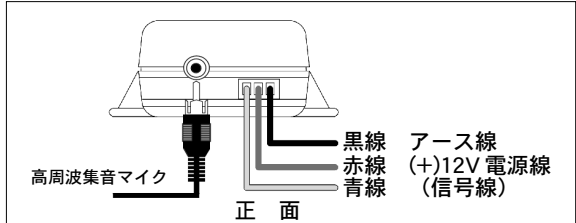
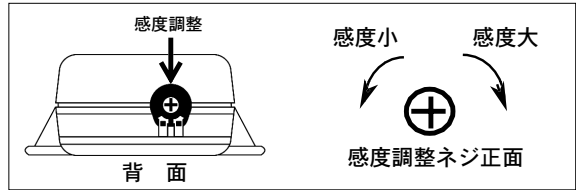
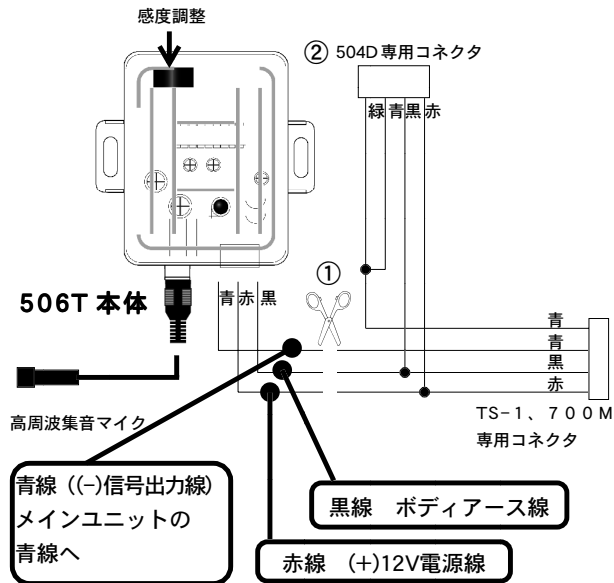


【506T 音感センサー説明書】

本製品はガラスが壊れたり、ガラスやボディに金属が当たった場合に発生する金属音（高周波音）をキャッチして警報を出すことができます。

信号系統図



① センサーポートがあるメインユニットの場合は、コネクタをそのまま差し込みます。それ以外の機種はコネクタを切断して使用します。

② 504Dと併用しない場合は、コネクタを絶縁処理します。

取付位置について

＜車のガラスを守る場合の取付例＞

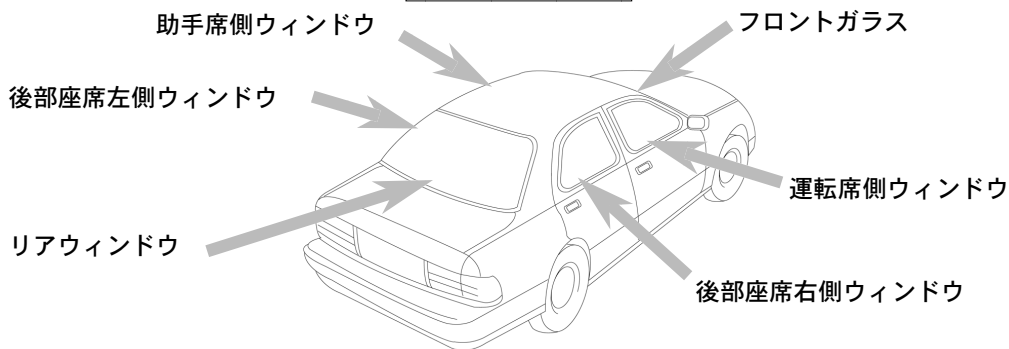


ガラスへの音を検出しやすくするため、できるだけキースイッチより高い位置にマイクを設置します。

（パネルに埋める必要はありません。）

この設置の場合には、ガラスの割れるときの音やガラスに金属物が当たって発生する高周波音を検出します。従って、ボディなど車体への傷つけには対応できません。

検出可能場所例



注意

- 本製品は金属音を検出するセンサーですので、周囲で特定の高い音がするような環境ではセンサーが反応する場合があります。（工事現場周辺、自転車、バイクのブレーキ音などによる高周波音）また本製品は低い音、小さな音には反応しません。
- センサーON/OFF用のトグルスイッチをつけると不要な時に解除できるので便利です。
- 周囲の機器の動きを妨げないように取り付けてください。
- 赤色線はバッテリーに直接接続しないでください。
- 本製品は耐熱、防水構造ではありませんので、熱や水を避けて設置してください。
- 本製品はオプションパーツです。本製品のみでは自動車盗難防止装置として機能しません。必ず接続可能なメインユニットと併せてご使用ください。